

対象国の条件:

研修コース番号:201984980-J002

案件番号:201984980

主分野課題:保健医療/その他感染症

副分野課題:保健医療/保健医療システム

使用言語:英語

案件概要

沖縄は、戦後アメリカの統治下に置かれ、駐在保健師制度等、日本の他の地域とは異なる制度や方法でマラリアを初めとした感染症を撲滅させてきた独自の経験を持つ。本研修の参加者は、資源が極端に不足する中で成し遂げた往時の復興経験と現在の優れた保健システムの双方を深く学ぶことにより、開発途上国に現在応用可能な知見と、今後目指すべき保健システムの在り方に係るビジョンの双方を習得する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

効果的で実行可能な感染症対策事業計画が作成される。

【成果】

1. 感染症対策に関する参加者の業務課題および所属機関の課題を整理した上で、優先課題を説明できる。
2. 保健行政における国、地方自治体の役割、各関係機関との連携の仕組みと機能、地域で展開する予防対策の実践について、日本、沖縄県の事例を検証し、自国で適用可能な取組みを抽出できる。
3. 研修で得た知識や技能を活用し、効果的で実現性のある保健事業改善計画の素案が作成できる。

【対象組織】

中央政府、地方自治体の保健部局において感染症対策を所掌する部署

【対象人材】

1. 職位：
中央、地方政府の保健部局の感染症対策計画、事業実施管理担当官。
2. 経験：
保健医療分野で5年以上の実務経験を有する者。
3. 語学力：
発表およびレポート記述に十分な英語力を有する者。

内容

【事前活動】 当該分野における管轄地域および所属機関の課題分析を纏めたジョブレポートの作成・提出

【本邦活動】

1. ジョブレポート発表、各国の課題の共有
2. 以下の内容の講義、視察、討論
日本・沖縄の保健システム：保健行政、各機関の連携
地方自治体の感染症対策事例の検証
-沖縄における結核対策、寄生虫ゼロ作戦、マラリア撲滅事業、公衆衛生看護婦駐在制度等感染症対策の仕組みと機能の理解
-感染症サーベイランスシステム、検査体制、情報管理、リスクマネジメント、ヘルスプロモーション、住民への啓発活動の理論と実践、住民参加による地区組織活動
3. 地区診断、計画策定方法

【事後活動】

日本で学んだことを生かした業務改善計画の実践

本邦研修期間

2019/10/23～2019/12/7

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA沖縄（研修業務）

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

(株)ティーエーネットワーク

**特記事項
及び
ホームページ**